

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	厚木北 高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科 全日制・スポーツ科学科
-----	----------	------------------	------------------------

（1）学校のミッション

- 全日制の課程学年制で複数の学科を併置する高校として、普通科においては、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- スポーツ科学科においては、スポーツ科学分野の専門性の向上を図るとともに、実践的・体験的学習を推進し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学力の育成、専門的な技能の習得、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 普通科とスポーツ科学科相互の融和を図り、ハイレベルな文武両道により、高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた主体性あふれる人材の育成をめざした教育活動に取り組む。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育むことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

（2）学校教育目標

- 1 ハイレベルな文武両道の学校として、生徒一人ひとりが意欲的に「学習」と「部活動・学校行事」の両面に励むことで、高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた主体性あふれる人材を育成する。
- 2 普通科、スポーツ科学科それぞれの特性を活かし、かつ相互に良好な影響を与え合うことで生徒一人ひとりの進路希望の実現と社会的・職業的自立を図る。
- 3 「健康づくり」「体力増進」と「いのちの大切さ」を基盤とした教育活動を展開することで、健康でこころ豊かな人生を先導し、社会に潤いをもたらす人材を育成する。
- 4 スポーツや文化を通してグローバルな視野を持ち、国際的素養を身につけた人材を育成する。

（3）計画策定時点での課題

- 普通科、スポーツ科学科それぞれの特性を活かし、かつ相互に良好な影響を与え合うことができるように、生徒の特性や実情を十分考慮した教育課程を編成・展開する必要がある。
- スポーツ科学科で高度な実験実習を展開するために、現状施設の老朽化対策や改修ならびに各種実験・実習・トレーニング等器材の整備が課題である。また、スポーツ科学科の魅力や特色を高めるために、カリキュラムを充実させるほか、校内での取組みを広く情報発信することが望まれる。
- ハイレベルな文武両道の学校づくりを進めるにあたり、学力向上を実現するために効果が大きい習熟度別学習の継続と、部活動加入率及び定着率向上のための指導者及び活動内容の充実、運動・スポーツ施設の整備・更新・充実が求められる。

(4) 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>ハイレベルな文武両道の学校として、高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普通科、スポーツ科学科それぞれの特性を生かし、教育の充実を図る。 ○習熟度別学習を有効に活用して、学力の向上を図る。 ○探究活動を通じて豊かなスポーツライフの構築に取り組むとともに、体力向上・健康増進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科、スポーツ科学科を併置する学校として、その特色を活かした教育活動の実践、充実を図る。 ・習熟度別学習による「個別最適な学び」や「協働的な学び」により学びを深める。 ・探究活動の質的向上のため、組織的な支援体制を敷く。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>部活動や行事に主体的に取り組むとともに、お互いに切磋琢磨し高め合える関係性を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自ら誇りと自覚をもって規律正しい生活を維持でき、よりよい人間関係を築けるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的に部活動や行事に取り組むよう役割分担し、それらの運営を通じてコミュニケーション能力の向上を図る。 ・生徒が安心した学校生活が送れるよう、生徒が抱える様々な課題に対し、きめ細かな対応ができる支援体制の充実を図る。
3	進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりの進路希望の実現と社会的・職業的自立の実現に向けて、きめ細かい進路指導・支援を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が日々取り組んでいる様々な活動を個々の進路実現へと繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験活動等のキャリアシチズンシップ教育や校種間連携したキャリア教育の充実を図る。 ・進学方法の変化に応じて職員研修の充実を図る。 ・探究学習や体験活動を進路と結びつけ、表現力を高める指導の充実を図り、総合型選抜による質の高い進路先への合格を増やす。
4	地域等との協働	<p>地域の教育力を積極的に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高大連携の推進や部活動等の連携を通して、地域とともにある学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との協働・連携による教育計画を作成し、実践する。 ・小中高大地域との連携事業を充実させていく。
5	学校管理 学校運営	<p>生徒第一に安心安全かつ快適な教育環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域連携による防災教育を推進する。 ○教育の情報化を充実させ、ICTの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高大地域と連携した防災教育を推進し、生徒が自主的・積極的に防災活動に取り組む。 ・教育の情報化に対応するために、コミュニケーションツールや教育用アプリの活用法を検討し、推進する。